

研究タイトル

リハビリテーション意欲を高める方法に関するアンケート調査研究

研究者

代表者 田中悟志 浜松医科大学 医学部 准教授

分担者 鈴木誠 東京家政大学 健康科学部 教授

分担者 小宅一彰 信州大学 医学部 助教

研究概要

リハビリテーションに対する患者さんの意欲をいかにして高めることができるでしょうか。この問いに対する答えは、個々のセラピストの経験や知識に任せられているのが現状です。本研究では、患者の意欲を高めるためにセラピストがどのような動機づけ方略を普段実施しているかを、臨床経験年数 5 年以上の熟練したセラピスト約 100 名を対象に、インターネット上で実施するアンケート調査で明らかにします。本研究により、これまで個々のセラピストの手の中にあった動機づけ方略が整理・体系化されます。この成果は、動機づけをターゲットとした新たな診断法や治療的介入の開発につながると考えられます。本研究は、代表者が所属する臨床研究倫理委員会の承認を得た後に実施します。